

# りんごの新しい性台木「青台3」 について

## りんご試験場 栽培部

「青台3」は、りんご試験場で昭和50年にマルバカイドウにわい性台木M.9を交配して育成し、平成13年に品種登録されたりんごのわい性台木です。

これまで県内でわい化栽培に利用されてきた台木のほとんどはM.26とM.9Aですが、これらの台木は繁殖しにくいという問題から、台木の下にマルバカイドウ（従来使用していた、木が大きくなる台木）を付けて増殖し、そのままの状態で開催されています。そのために本来のわい性台木の特性が十分発揮されず、樹が大きくなりすぎる、樹の揃いが悪い、ひこばえが多発する等の問題が生じています。

それに対し、「青台3」は繁殖性が優れるため、マルバカイドウを利用する必要がなく、「青台3」のみに品種を接いだ木で栽培できます。その結果、木はコンパクトになり、生産性や作業性が、従来のマルバカイドウ付きわい性台木を利用した場合に比べると大きく向上するものと期待されます。

